

平成26年度一般会計決算の概要(ポイント)

決算の全体像

- ◇歳入は、4,903億円。(対前年度比 + 46億円)
- ◇歳出は、4,818億円。(対前年度比 + 83億円)
- ◇実質収支は、26億円。(対前年度比 △ 50億円)
- ◇主要なプロジェクトをはじめ、県経済の活性化に資する取組を積極的に推進するとともに、紀伊半島大水害からの集中復旧・復興期間の最終年度にあたり、各般の取組を確実に推進。

歳入の状況

- ◇臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税は減少したものの、県税、地方消費税清算金、地方譲与税の増加により、主要な一般財源は、㉕ 3,393億円から ㉖ 3,478億円に増加(+85億円)。
- ◇国の補正予算で措置された地域の元気臨時交付金等の減少により、国庫支出金が減少(△159億円)。

歳出の状況

- ◇義務的経費は、人件費が増加したことにより、㉕ 2,346億円から ㉖ 2,416億円に増加(+70億円)。
- ◇投資的経費は、普通建設事業費が減少したことにより、㉕ 754億円から ㉖ 727億円に減少(△27億円)。
- ◇一般施策経費は、市町村が有する高金利地方債の繰上償還に要する経費に対し、無利子貸付を実施したこと等により、㉕ 1,636億円から ㉖ 1,675億円に増加(+39億円)。

収支の状況

◇ 国の要請に基づき、25年度に限り給与減額措置を実施したこと等により、26年度は人件費が増加したこと等から、収支額は前年度に比べ減少。

実質収支 25億80百万円(㉕75億49百万円 △49億69百万円)

<参考> 県債残高 ㉖年度末 10,700億円 (㉕年度末 10,676億円 +24億円)
 うち交付税措置がなく県税等で償還する額
 4,052億円 37.9%(△111億円 △1.1%)

財政調整基金の残高

㉖年度末 225億円 (㉕年度末 186億円)

26年度中の基金増減

取り崩し額

—

積立額

39億円 (前年度決算剰余金の1/2等)

差引

39億円

財政状況の指標 (速報値)

※今後の精査により、数値に異動が生じる場合があります。

◇ 一般会計のほか特別会計等の決算額を含め、財政状況の指標を算定。

◇ 本県の指標はいずれも基準をクリア。

<資金繰りの状況を表す指標>

指標の種類	H26本県数値	H25本県数値	基準
公営企業等を除く会計の赤字の比率(実質赤字比率)	「—」 (△0.87%)	「—」 (△2.48%)	<3.75%>
全ての会計の赤字の比率(連結実質赤字比率)	「—」 (△6.73%)	「—」 (△8.74%)	<8.75%>
公債費の比重を示す比率(実質公債費比率)	12.0%	12.1%	<25%>

<負債の状況を表す指標>

指標の種類	H26本県数値	H25本県数値	基準
県債残高だけでなく公営企業会計や公社・3セクの負担も含めた、一般会計が将来負担すべき負債の比率(将来負担比率)	171.0%	185.6%	<400%>

※表中、基準欄の数値は、法律により財政健全化計画等の策定が義務付けられる基準